

<開催のご案内>

ソニー教育財団「ソニー子ども科学教育プログラム」  
科学が好きな子どもを育てる教育実践論文 全国177の小・中学校より選ばれた「最優秀校」

研究成果を発表する「子ども科学教育研究全国大会」開催  
11月14日(日)旭市立干潟中学校(千葉県)

後 援: 文部科学省、千葉県教育委員会、旭市教育委員会 他

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 盛田 昌夫)は、2020年度、「ソニー子ども科学教育プログラム」の教育助成論文で「最優秀校」に選ばれた旭市干潟中学校(千葉県、校長:遠藤 忠義)にて、優れた教育実践を公開・発信する「子ども科学教育研究全国大会」を開催します。

「ソニー子ども科学教育プログラム」の論文は、1959年にソニー創業者の井深大が始めた教育助成活動です。「科学が好きな子どもを育てる」を主題に、小学校・中学校の理科や生活科の実践と、その考察に基づく計画を募集しています。2020年度は、全国から177校よりご応募をいただきました。

今回、「全国大会」を行う干潟中学校は、論文審査に加え、オンラインによるヒアリング、授業を記録したビデオ審査を経て、本プログラムの審査委員会(御手洗 康 委員長・元文部科学事務次官)による最終審査の結果、「最優秀校」に選出されました。

子どもたちの「豊かな感性」と「創造性」そして、「主体性」を育む取り組みや成果について、公開授業、研究発表などを通じ、全国の先生、教育関係者のみなさまに広くご紹介します。



## 子ども科学教育研究全国大会(公開授業・研究発表) 開催概要

### 旭市立干潟中学校(千葉県)

- 研究主題: 科学が好きな子どもを育てる  
開催日時: 2021年11月14日(日) 8:45~11:45 (Zoomを使用したオンライン発表)  
シンポジウム: 「原点回帰」から、いかに科学が好きな生徒を育てるか  
参加費: 無料

開催についての詳細やお申込みは、旭市立干潟中学校のホームページをご覧ください。

<http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/jhs-hikata/index.html>

## ソニー教育財団「ソニー子ども科学教育プログラム」教育助成論文 最優秀校

### 旭市立干潟中学校(千葉県)

科学が好きな子どもを育てる「原点とは何か」

論文全文([https://www.sony-ef.or.jp/program/result/pdf/2020\\_sci\\_hikata.pdf](https://www.sony-ef.or.jp/program/result/pdf/2020_sci_hikata.pdf))

#### 【審査講評(抜粋)】

地域の自然や環境を活かした理科教育の充実に取り組み、着実に実践を広げ 深め、目指す「科学が好きな子ども」の姿に迫る研究を継続されてきました。理科授業のあり方について独自の理念に基づく考え方や視点(手立て)が示され、実践の4つの柱が明確で、地域の自然環境を生かし、実物で教育しようとする提言性のある内容となっています。実験器材も手作りで用意して「一人一実験」を行わせたり、体験を通して観察させるなど、生徒が主体的に学習に取り組み、考えを発表・表現したり、振り返りの場面でのノート記述などによって考察を深めさせるなど、「感性」と「挑戦心」を養い、観察力を高める優れた実践です。次年度においては、今年度の成果と課題を踏まえ、更なる発展的な展開を模索されていますが、校内研修などを見直し、ディベート活動を新たに加えるなど、さらに研究を進めていただけることを期待しています。

#### ■「ソニー子ども科学教育プログラム」教育助成論文 とは

「科学が好きな子どもを育てる」を主題に、理科や生活科を中心とした教育の「実践」と「計画」を募集しています。毎年、約200の全国の小学校・中学校から、学校での取り組みを論文にまとめてご応募いただきます。元文部科学事務次官の御手洗 康氏を審査委員長に、各界の専門家が実践、考察・評価、次年度計画について審査します。予備審査・中間審査を経て、「最優秀校」など上位の入選候補校に関しては現地調査も行います。「最優秀校」は翌年、計画の実践とともに、全国の教育現場でその成果を共有できるよう、「子ども科学教育研究全国大会」を開催。主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。

詳しくは、ホームページをご覧ください: <https://www.sony-ef.or.jp/sef/program/index.html>

#### ■ソニー教育財団について

ソニーの創業者である井深 大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育助成活動の始まりです。

この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、井深 大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも拡げ、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。50年以上もの間、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。

一方で、井深 大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定こども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、幼児期から中学生までの「科学する心」を育むこと、「科学が好きな子ども」を育てることを柱にした教育助成を行っています。

教育助成の他、“自然に学ぶ”をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉ー子ども夢教室」、親子の絆を育む『『科学する心』を見つけようフォトコンテスト』など、未来を生きる子どもたちへのさまざまな支援活動を行っています。



ソニー創業者 井深大

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 原田)

公式ホームページ: <https://www.sony-ef.or.jp/>